



新年のご挨拶

たきかわ農業協同組合

代表理事組合長

山岸 穰

令和7年の新春をご家族と共に迎えられた組合員の皆様に、心からお慶び申し上げます。

昨年の農作物の状況は、春先融雪は順調に進み、平年より早く作業が開始となり、その後は、一昨年のような気温の高い日も少なく、昼夜の温度差があり、作物全体に好条件の年になり豊作の年になりました。水稲は、作況指数103で、収量品質も良かったですが、うるち米の異常な高値により、うるち米・もち米・加工米・種子等を含め19万2千俵の集荷になりました。出荷頂きました組合員の皆さんに大変感謝申し上げます。

畑作物の小麦は「赤カビ病」の発生や一部の圃場で「なまぐさ黒穂病」の発生が見受けられました。が、品質収量共に良く製品数量4万4千俵、平均反収は秋小麦で5.6俵、春小麦3.6俵となりました。菜種は8千4百俵の収量、平均反収5.7俵となりました。施設園芸作物は、「花卉」や「トマト」等は高温障害による影響で減収となりましたが、市況が高値で推移したこともあり、平年並みの販売実績となりました。令和2年産米の共計費用については、皆さ

んにご理解を頂き11月に終了させて頂きました。ありがとうございます。感謝申し上げます。

農業の情勢では、昨年食料・農業・農村基本法の改正を25年ぶりに決定したことを踏まえ、JA全国大会の中ではJAグループの意思の結集が行われました。食料安全保障の確保を目的に、食料自給率の向上、生産資材の高止まりによる農畜産物の適正価格形成など様々な課題の解決に向けて取り組みを進めて参ります。今後は、政策の具体化と万全な予算確保が必要で

農協事業では、昨年は米の価格が高値に推移した結果、ホクレン概算金を大きく上回る商系の買取価格により農協の集荷については苦戦をいたしました。販売部では、米を高値安定で販売するために一昨年よりプロジェクト委員会を設置して売り込みを行っております。ホクレンの精算に乗せ出来るように道内外の販売業者を訪問して協議をさせて頂いております。現在数店の業者と取引を開始しておりますが更に数量を増やしていく考えです。

今年の決算見込みについては、

事業利益では計画に及ばないものの黒字の見込みであります。しかしながら、各部においても厳しい事業展開となっており、将来を見据えると今から手を打っていく必要があると考えています。中でも3ヶ年計画で揚げていました営農賦課金の見直しについて、現在プロジェクト委員会を立ち上げて協議を重ねており、令和8年4月の総代会に提案出来るよう組合員の皆様から意見を頂きながら進めて参りたいと考えていますのでよろしくお願い致します。

子会社の関係ですが、今年芦別給油所のリフォームを行う計画であります。昨年の夏に芦別の組合員を対象に説明会を実施しました。内容につきましては農協で約9,300万円かけてリフォームし給油所としての機能は変えない計画です。本体で取得し毎年の減価償却費とそれにかかる各経費などは子会社のJAたきかわサービスが負担する内容であります。

これから、たきかわ農協を取り巻く環境は厳しくなりますが、組合員皆様のご協力のもと進めて参りたいと考えていますので、今以上のご支援、ご協力をお願い申し上げます。結びになりますが、組合員の皆様のご健勝と本年が豊穰の年になりますことをご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

たきかわ農業協同組合

代表理事組合長	山岸 穰
専務理事	滝 孝造
常務理事	和 道宏
理事	高 橋 佳万
理事	伊 藤 公一
理事	堀 田 昭典
理事	苧 田 勝
理事	池 田 裕治
理事	岡 本 隆守
理事	川 田 能教
理事	菅 井 星秋
理事	櫻 田 浩生
理事	石 川 雅彦
代表監事	佐 野 昌治
常勤監事	小 澤 康之
監 事	榎 本 拓真
他職員一同	他職員一同
代表取締役社長	山 岸 穰
取締役	滝 孝造
取締役	高 橋 佳万
取締役	浅 野 由敬
取締役	他社員一同

(株)JAたきかわサービス

代表取締役社長	山 岸 穰
取締役	滝 孝造
取締役	高 橋 佳万
取締役	浅 野 由敬
取締役	他社員一同